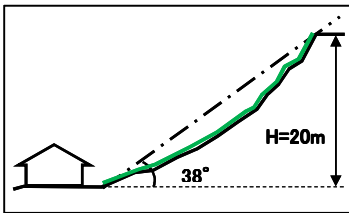


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		青木		
事業毎の通番		8		市町村名		飯田市		
事業目的		当箇所は松川右岸に位置し、勾配38°、がけ高さ20mの急斜面で、保全対象として人家40戸、市道570m、飯田市上水道鼎配水池等が存在する。斜面上段には法肩に面して家屋が密集しており、風化による侵食も進んでいることから、崩壊による人的被害の危険性が高まっている。このため早急に対策を講じ民生の安定を図るものである。						
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法		
関連する事業、計画等								
保全対象・範囲 受益対象・範囲		保全対象: 人家40戸 公共施設: 飯田市上水道鼎配水池、市道						
着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	6.0	国庫	30,000	県債	121,500	
全体事業内容(主な工種)	法面工 L=640m			300,000	135,000	9,000	2,000	
年度事業内容(主な工種)	・地質調査 1式 ・地形測量 1式 ・詳細設計 1式			20,000	9,000	8,100	900	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	土砂災害特別警戒区域指定の解除						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	○人家戸数 : 40戸 ○公共施設数 : 2箇所(飯田市上水道鼎配水池、市道) ○災害時要援護者施設の有無 : 無 ○避難場所、避難路の有無 : 無					評価	B
	重要性	○過去の災害履歴 : 無 ○交通遮断による地域経済への影響 : 中(市道) ○地域防災計画上の位置づけ : 無					評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C) : 5.97 ○事業期間 : 6年 ○工法等の比較検討 : 検討なし					評価	B
	緊急性	○斜面の高さ : 20m ○斜面平均勾配 : 38° ○地質 : 段丘堆積物 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形 : なし ○植生 : 普通 ○保全対象の位置 : がけ下19戸、がけ上21戸					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知 ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている。 ○住民との協働 : 住民参加型の事業					評価	A
	部意見	保全対象に人家40戸、飯田市上水道鼎配水池がある。斜面は風化による浸食が進んでおり、早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		勾配38度、高さ20mの急斜面であり、斜面は風化による浸食が振興していることから、必要性は認められる。	評価結果	総合評価
						○	B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地区は飯田市地域防災計画の危険箇所位置付けられており、がけ上に21戸の人家、がけ下に19戸の人家と配水池といった保全対象がある。鼎地区で隣接もしくは対岸の河岸段丘斜面における急傾斜地崩壊対策はここを残して概ね完了しており、地元から対策の要望が挙がっている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	急傾斜事業に係る勉強会を、H24年度に鼎地区において、H25年度に北方地区において実施している。	
③事業説明等の経緯	平成21年3月土砂法説明会開催。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	飯田市街地から景観に配慮し、法面の緑化を図る予定	
⑥地域活性化への影響と配慮	地元は対策に対しての関心が高いため、避難体制の整備及び施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。	
⑦その他		
	事業代表地点の緯度経度	北緯: N 35° 30' 15" 東経: E 137° 48' 37"